



## 先輩インタビュー 会社に入社して、 一番やりがいを感じたことは？

### 上司・先輩にフォローしてもらいながら 企画を考え、実現に向け活動しています

地元である宮城・仙台のためになる仕事をしたいという想いがあり、「地域のために」というシンプルな目的をさまざまな方法で展開しているユーメディアに惹かれました。現在は主催、受託両方のイベントに携わるチームに所属。会社内外の方々とのつながりを深め、企画の幅を広げながら、イベント事業の発展に貢献できることが大きなやりがいです。これからも宮城にある文化や魅力を発掘・振興し、地元の方に「宮城に住んでいて良かった」と思ってもらえる仕事をしていきたいですね。そしていつか宮城を代表するイベントを実現するのが夢です。



達成感や満足感が  
得られる仕事です！



profile  
【名前】高橋 宏祐さん 【在籍年数】1年8ヵ月  
【所属】地域ブランディング事業部 地域ブランディング2チーム



■多様な働き方を実現するため、オフィスもリニューアル。「Park」をテーマにデザインされた8階には、大人数での会議も可能な広々としたフロア。オープンスペースのほか、クローズドで行いたい打ち合わせにも対応する個室を完備。■生き生きとした表情の60周年プロジェクトメンバー。■未来を担う人材の育成も目的とした「あしたLab」は、意思決定を下す経営幹部とのパイプラインも確立されている。■主催する『仙台オクトーバーフェスト』は、'20年は『仙台オクトーバーフェストAT HOME』と銘打ち、オンラインでビールセットなどを販売。■出社とリモートワークを組み合わせたハイブリッドワークは、利便性だけでなく課題も抽出し、改善しながらブラッシュアップしていく。

### 求人情報

- 初任給 205,000円～
- 福利厚生 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険、企業年金基金、従業員持株会、慶弔見舞金制度、保養施設、社内懇親会（ビアパーティ、ボウリング大会、社員旅行）など
- 休日休暇 週休2日制（土・日曜 ※祝日がある週は土曜出勤）、祝日、夏期休暇、年末年始休業、年次有給休暇（初年度10日間）、慶弔休暇、産前産後休業、育児休業、介護休業など
- 職種 企画営業職
- インターンシップ受け入れ/あり ■大学生アルバイト受け入れ/あり
- 採用担当者連絡先/TEL022-714-8311（人材開発チーム）  
✉ saiyu@u-media.jp

- CORPORATE RESEARCH 採用ページはコチラから
- 会社案内請求
- 自社説明会
- 会社見学



マイナビ リクナビ

### 会社情報

- 設立 1960年1月
- 代表 今野 均
- 資本金 6,000万円
- 従業員数 140人（男99人/女41人）

〒984-8545  
仙台市若林区土地103  
TEL/022-714-8311  
FAX/022-714-8312  
https://www.u-media.jp/



file12

## 株式会社ユーメディア

広告・印刷・プロモーション支援

## 変革を恐れない「ボトムアップ」な社風で 社員と経営が一丸となり会社の未来を創る

若手活躍の場を創造し  
サステナブルな経営を

印刷にとどまらず、Webメディア、映像、イベント等の多彩なツールを駆使し、「総合コミュニケーション支援企業」として躍進してきた「ユーメディア」。創業60周年を迎えた今、さらなる働きがいの充実に努めている。

入社4年目以下の社員により進められてきた60周年記念プロジェクトは、形を変え、「70周年を見据え、若手ができることを考えていこう」というテーマに発展。原点に立ち返った印刷の研究、クリエイターとのネットワーク作りなど、4チームに分かれて活動中だ。「仲間の会社や仕事に対する考えを聞くことができ、お互いをリスペクトするきっかけになっています」と話すのは、入社2年目の堀越帆波さん。4年目の下田恭平さんは、「若手社員も裁量権をもって経営に参画できるチャンス。後に続く若手のために土台をしっかりと作っていききたいですね」と前向きだ。

企業風土や働き方を  
社員と経営が一体で変革

先日発足した「あしたLab.」は、社員の「あした」を自ら考え、作るための組織。若手から中堅社員が運営メンバーとなり、全社員参加可能なミーティング形式で会議体を運営している。「未来に向け、企業風土を活性化していく提案の場。自社にとって有益なことは何でも実践し、新しい付加価値を生み出していきます」。運営メンバーの東海林広高さんはそう意欲を見せる。

時流を読み取り、多様な働き方の一環としてハイブリッドワークをいち早く導入したのも同社の強みだ。'19年5月からルール策定やトライアルを実施してきた総務の西村聡美さんは、「ハイブリッドワークは時間制約のある社員だけではなく、すべての社員のためのもの。その意識が浸透しつつあります」と成果を語ってくれた。

ユーメディアの未来と、ここで働く社員を輝かせるため、全社員が一丸となって取り組んでいる。